

製品名: セレベリン 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08682**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	CBLN4
別名	CBLN4; CBLNL1; Cerebellin-4; Cerebellin-like glycoprotein 1
遺伝子 ID	140689.0
SwissProt ID	Q9NTU7
免疫原	抗血清はヒト CBLN4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

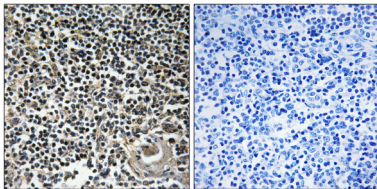
この遺伝子は、C1Q ドメインを含む低分子分泌タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーは、シナプス発達におけるニューレキシンシグナル伝達の調節に関与しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質のマウスホ

モログは、ネトリンと競合して、大腸癌で欠失した受容体に結合することが知られています。[RefSeq 提供、2012年8月]機能: 中枢神経系におけるシナプス機能に関与している可能性があります。CBLN3の小胞体からの輸送と分泌を可能にします。類似性: 1つのC1qドメインを含みます。サブユニット: ホモヘキサマー; ジスルフィド結合したホモトリマー。トリマーは球状のC1qドメインを介して組み立てられます。トリマーはN末端のシステイン残基を介して会合し、ジスルフィド結合したヘキサマーを形成します。CBLN1、CBLN2、およびCBLN3と相互作用する可能性があります。、

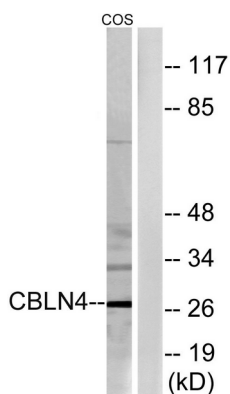
研究分野

-

画像データ



CBLN4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胸腺組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CBLN4抗体を用いたCOS細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



セレベリン4ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析